

松田町国民健康保険診療所 (寄診療所) アンケート調査結果

☎ 町民課 国保年金係 ☎ (83)1225

◆結果概要

- 寄診療所は、寄地区在住の高齢者にとって不可欠な地域医療拠点として強く存続が望まれている。
- 寄地区以外からの利用者は極めて少なく、認知度も低い。
- 診療所の利用者を増やし持続可能性を確保するには、診療内容の拡充(診療科の追加、設備の充実)や利便性向上(時間拡大)などの見直しが必要との意見の一方、赤字が膨らむ懸念もある。
- 診療所の利用者が寄在住の高齢者に偏っており、利用者の固定化が進行していることから、診療所の収入は将来的に減少が見込まれる。
- 支出面では、「診療所職員の人数が多すぎるのではないかと」と意見が複数あり。
 - ▼ 運営コスト(人件費など)の妥当性を検証し歳出を削減。
 - ▼ 利用者の規模(人数や利用頻度)に合わせて診療体制を見直す。



詳細はこちら

◆回答者属性と寄診療所の利用状況

項目	寄在住 (123件)	寄地区以外在住 (129件)	全体 (252件)
年齢構成 (70歳以上)	69件 (56.1%)	29件 (22.5%)	98件 (38.9%)
診療所認知度 [「はい」]	118件 (95.9%)	85件 (65.9%)	203件 (80.6%)
利用経験 (1度も利用なし)	9件 (7.3%)	104件 (80.6%)	113件 (44.8%)
未利用理由 (最多)	健康だから (18件)	遠い (65件)	遠い (68件)
交通手段 (利用者内訳)	車：73件 徒歩：27件	車：60件 徒歩：2件	車：133件 徒歩：29件

分析すると…



- 寄在住の回答者は高齢層70歳以上が過半数を占める。
- 寄地区以外在住者の3分の1以上が診療所を認知していない。
- 利用者はほぼ寄在住者に限定。
- 寄地区以外の方にとっては物理的距離が離れていることが利用しない理由である。
- 寄在住者にとって徒歩圏内の医療機関であることが重要。

◆寄診療所への主な意見(自由記述より抜粋)

カテゴリ	寄在住	寄地区以外在住
存続に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> ● 寄を無医村にしないしてほしい。 ● 高齢者にとって必要不可欠である。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 寄在住者にとっての地域の医療機関として存続が良いのではないかと。
廃止に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> ● 診療所は廃止し、その分を寄地区の交通の便の向上に充てるべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 赤字運営が続くなら廃止する。
診療内容の拡充	<ul style="list-style-type: none"> ● 診療科の追加(整形外科、皮膚科、眼科、小児科) ● 現状で良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 診療科の追加(婦人科、小児科) ● 設備の充実(CT、MRI、エコーなど)
利便性向上	<ul style="list-style-type: none"> ● 時間拡大：木曜(午後や土曜)診療を望む。 ● 情報発信：診療日や医師の専門性を広報紙などで周知してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 時間拡大：土曜や平日の夜間診療を望む。 ● 施設：待合室や駐車場の拡張を望む。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ● 診療所の規模のわりに職員数が多すぎる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 診療所の規模のわりに職員数が多い。 ● (廃止後) その予算を交通費補助(タクシー助成など)の拡充に充てるべき。 ● 人口の多い地区の施策を優先すべき。